

「都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト」
「首都圏での中小地震と大地震の発生過程の関係の解明」
平成 27 年度第 2 回（通算第 9 回）検討会・打ち合わせ議事録

日時：平成 27 年 12 月 23 日（水）9:00～15:30

場所：ホテル京急油壺観潮荘

出席者（敬称略）

1. 実施担当者

東京大学地震研究所	教授	佐竹健治
東京大学地震研究所	特任研究員	村岸 純

2. 業務協力者

東京大学地震研究所	准教授	鶴岡 弘
名古屋大学	准教授	山中佳子
新潟大学	教授	矢田俊文
専修大学	教授	熊木洋太
産業技術総合研究所地質調査総合センター	研究企画室長	藤原 治
産業技術総合研究所活断層・火山研究部門	主任研究員	行谷佑一
伊東市教育委員会生涯学習課	主幹	金子浩之
東電設計株式会社		中村亮一

3. オブザーバー等

東京大学地震研究所	教授	平田 直
名古屋大学	教授	武村雅之
東京大学地震研究所	特任研究員	西山昭仁

【議事次第】

9:00 開会

9:00 - 9:05 開会の挨拶 プロジェクト代表 平田 直（東京大学地震研究所）

座長：課題代表 佐竹健治（東京大学地震研究所）

9:05 - 9:35 【話題提供】「口碑に基づく中世に常陸国神栖地域を襲った津波」

（発表 20 分，質疑応答 10 分）行谷佑一（産業技術総合研究所）

9:35 - 10:05 【話題提供】「江戸期の日光東照宮における地震被害について」

（発表 20 分，質疑応答 10 分）西山昭仁（東京大学地震研究所）

10:05 - 10:35 【話題提供】「神社明細帳でみた南海トラフ地震」

（発表 20 分，質疑応答 10 分）山中佳子（名古屋大学）

10:35 - 10:55 休憩

10:55 - 11:10 現地見学サマリー

11:10 - 11:30 現地見学・討論会の議論

- ・ 江ノ島の隆起・沈降について
- ・ 鎌倉大仏殿は何時なくなったか，明応地震津波の高さについて
- ・ 諸磯の隆起海岸～Imamura (1929)による穿孔貝の痕跡は，歴史地震と対比可能か？
- ・ 城ヶ島～元禄・関東地震による隆起痕跡

11:30 - 12:45 昼食

12:45 - 13:15 【話題提供】「元禄 16 年地震津波の被災模様を語る史料」

（発表 20 分，質疑応答 10 分）金子浩之（伊東市史編さん室）

13:15 - 13:45 【話題提供】「1703 年元禄地震における地形と生業の変化—千葉県船橋市地域を中心に—」

（発表 20 分，質疑応答 10 分）矢田俊文（新潟大学）

13:45 - 14:00 休憩

14:00 - 15:25 ビジネスミーティング

- (1) 平成 28 年度業務計画案について
- (2) 歴史資料データベースの構築・公開に向けて
- (3) 安政江戸地震の地震像解明に向けて

15:25 - 15:30 閉会の挨拶

運営委員長 武村雅之（名古屋大学）

15:30 閉会

以上